

羽島市立桑原学園で防災講座を行いました

令和7年9月20日（土）、羽島市立桑原学園で1～5年生59名に地震、6・7年生28名に水害の防災講座を行いました。当日は学校の「防災・減災の日」で、他にも様々な体験が行われていました。この学校での講座は4年目となります。

学校は、木曽川と長良川に挟まれ、近くには桑原川が流れ水害リスクが高く、また、揺れやすく液状化の恐れがあるなど地震リスクも高い地域に位置します。

地震の講座では、岐阜県で甚大な被害が発生した濃尾地震や昨年の能登半島地震、「トリップぶるる」で建物の揺れなどについて学習しました。「トリップぶるる」は保護者の方にご協力頂きながら各自で作成し、「実験を通して建物の揺れの違いがよく分かりました」との感想がありました。

水害の講座では、羽島市でも被害のあった伊勢湾台風についての学習や、映像・VRによる浸水疑似体験、伊勢湾台風A I 語り部との対話体験・防災クイズ体験を行いました。A I 語り部との対話体験では「いつ避難しましたか？」などと質問をし、防災クイズ体験ではグループ内で回答を話し合い、A I を通して伊勢湾台風や避難用品などについて理解を深めました。

今回の講座が、児童・生徒たちの防災意識向上に繋がり、災害から大切な命を守ることが出来るようになって頂けることを期待しています。

なお、講座の様子は読売新聞に取材頂きました。

地震



水害

